科目ナンバリング	U-LAS06 20028 LJ43						
授業科目名<英訳>	社会経済システム論II Introduction to Socio-Economic Systems II			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　柴山　桂太		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	法・政治・経済(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	水3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

冷戦終結後、資本主義だけが残った。世界のほぼすべての国で資本主義システムが採用されたが、そのことが新たな問題を引き起こしている。二〇〇八年の世界金融危機後、先進国の経済成長率は大幅に鈍化し、「長期停滞」に突入しているという見方が広がっている。多くの途上国が成長したことでグローバルな南北格差は縮小したが、国内の所得格差はどの国でも拡大傾向にある。金融化の影響で資産バブル、とりわけ住宅・不動産バブルが各地で起きており、今後新たな危機の引き金となる可能性が高い。こうした現代の資本主義にまつわる諸問題を、歴史的、理論的に考察するのが本講義の目的となる。

[到達目標]

世界経済の現状について基本的事項を理解し、および現代の資本主義が直面する諸問題についての理解を深める。

[授業計画と内容]

以下のトピックを取り上げる。なお項目毎の回数は固定的なものではなく、進行状況に応じて適宜、修正される。

（1）資本主義の危機とは何か？【3回】
一九三〇年代、七〇年代の危機と比べた時、現代の経済危機にはどのような特徴があるのか。歴史を振り返りつつ解説する。

（2）経済成長と長期停滞【4回】
近代的な経済成長はどのような背景で起きたのか。また、最近の先進国で見られる経済停滞は、どのような要因によるのか。複数の学説について解説するとともに、近年の「脱成長論」についても取り上げる。

（3）格差・不平等の拡大【4回】
格差や不平等の拡大が起きている歴史的・理論的な背景と、最近のポピュリズム政治の関係、また現代の教育システムとの関連についても解説する。

（4）資産バブルと「日本化」【3回】
資本主義の歴史につきものの資産バブルについて、日本のバブルやリーマンショック前のアメリカのバブルを事例に解説する。その上で、危機後に行われた実験的な経済政策の今後について考える。

授業回数はフィードバックを含め全15回とする。

社会経済システム論II(2)へ続く↓↓↓

社会経済システム論II(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

レポート（30）、および定期試験（70）

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
講義中に指示する。

[授業外学修（予習・復習）等]

レポートの作成にあたっては統計資料の活用と講義中に指示する参考文献の読解が不可欠となる。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]